

ボツワナ共和国月報(2024年4月)

主な出来事

【内政】

- 野党BPF、最大野党連合UDCとPACTモデルでの協力を模索
- 与党BDP、予備選候補者名簿を公表
- 独立選挙管理委員会による選挙人名簿の一般公開

【外政】

- マシシ大統領、南アフリカを訪問
- マシシ大統領、米国を訪問
- 在ボツワナ・ウクライナ大使館開設
- キンバリー・プロセス(KP)事務局ホスト国協定署名

【経済】

- ノルウェー企業による120Mワット級太陽光発電施設の建設
- 2023年度の税収は過去最高へ
- ボツワナ初の人工衛星打ち上げ-2025年初旬を予定-
- 燃料価格改定-値上改定-
- デビアス社、オークション本部をシンガポールからボツワナへ移転
- 2024年第2回金融政策会合-政策金利は2.4%で据置き-
- 3月インフレ率は2.9%-前月から1%下落-
- 2月の国際商品貿易統計-5か月連続の貿易赤字-
- 2023年第4四半期の交通統計-日本メーカーが圧倒的存在感-

【当館関連イベント】

- 日本理解促進のための図書寄贈式典
- 中学校特別支援学級棟の引渡し
- ボツワナ空手協会空手道場の引渡し
- 令和5年度補正予算UNDPプロジェクトの開始式

【内政】

- 野党BPF、最大野党連合UDCとPACTモデルでの協力を模索

ボツワナ愛国戦線党(BPF)は最大野党連合「民主改革のためのアンブレラ」(UDC)からの脱退を決め、PACTモデルでの協力を模索する方針だ。これはUDC内での各党の選挙区獲得争いや、カーマ前大統領を選挙の顔として使えないことへの不満等から生じたとみられる。

- 与党BDP、予備選候補者名簿を公表

22日、与党ボツワナ民主党(BDP)は党内での予備選候補者の調整を終え、国民議

会及び市議会の候補者名簿を公表した。ツォフワネ副大統領、クワペ外務大臣、モラオ農業大臣、モルワエン大統領府担当大臣は予備選を免れた一方、モラレ運輸・公共事業大臣、アウトウェツィ地方開発・地方自治大臣は政界を去る見通しだ。セラメ財務大臣とディコロティ保健大臣が同じ選挙区で立候補しており、激しい予備選が予想される。

○ 独立選挙管理委員会による選挙人名簿の一般公開

独立選挙管理委員会(IEC)は選挙人名簿の検査期間を4月22日～6月2日とし、公開検査の準備が整ったことを発表した。同42日間、有権者や利害関係者は選挙人名簿への自由なアクセスが可能で、選挙当日の疑義を防止するため、名簿を検査することは投票者の責任とされている。

【外政】

○ マシシ大統領、南アフリカを訪問

11日、マシシ大統領は南アフリカのリンポポ州を訪れ、ラマポーザ・南アフリカ大統領と会談した。今回の訪問は、45人のボツワナ人が犠牲となったバス事故への南ア側の円滑な対応と支援に感謝の意を表すためであった。両大統領は、事故に関する共同ブリーフィングを受け、二国間会談を行った他、事故現場を共同で視察した。

○ マシシ大統領、米国を訪問

28日、マシシ大統領は米国に向け出発し、30日には、マサチューセッツ工科大学にて「グローバル成長市場におけるイノベーション: 起業家精神を通じて繁栄への新たな道を切り開く」と題した基調講演を行った。同訪米は5月13日まで続き、2024 Global Citizen Now Summit(於: ニューヨーク)や米国・アフリカビジネスサミット(於: ダラス)への参加、デイビス・バハマ首相との会談等を予定している。

○ 在ボツワナ・ウクライナ大使館開設

16日、ウクライナがハボローネに新たな大使館を開設し、オープニング・レセプションが開催された。式典には、スブクフ・ウクライナ外務副大臣、アブラビトワ駐南ア・ウクライナ大使、クワペ外務大臣等が出席した。

○ キンバリー・プロセス(KP)事務局ホスト国協定署名

23日、モアヒ鉱物・エネルギー大臣とタンKP事務局長との間にて、KP事務局のホスト国協定が署名された。

【経済】

○ ノルウェー企業による120Mワット級太陽光発電施設の建設

ノルウェーの再生可能エネルギー発電事業者Scatec ASAは、ママディナレ(ボツワナ中央地区)にて120Mワット級の太陽光複合施設の建設を開始した。同社は、国営ボツワナ電力公社(BPC)との間で25年間の売電契約を締結しており、第1フェーズ(60Mワット)では、年間で2万世帯に相当する電力を供給する。

○ 2023年度の税収は過去最高へ

2日、マホロ・ボツワナ統一歳入庁(BURS)長官は、暫定報告書において、2023年度の税収が595.66億プラを記録し、過去最高になったことを発表した。マホロ長官は、この結果について、ダイヤモンドの売上が減少するなどマクロ経済に逆風が吹く中、BURSをはじめ政府関係機関等関係者の努力を評価し、新たな徴税システムの導入、納税者教育やコンプライアンス強化を通じ、2024年度の税収の705.76億プラ達成に意欲を見せた。(注)

注)ボツワナ財務省が公表している予算書(最新版)では、2023年度の税収を602.74億プラ、2024年度の税数を712.77億プラ(予算ベース)としている。なお、鉱山事業から入るロイヤリティーや配当は税外収入に分類。

○ ボツワナ初の人工衛星打ち上げ-2025年初旬を予定-

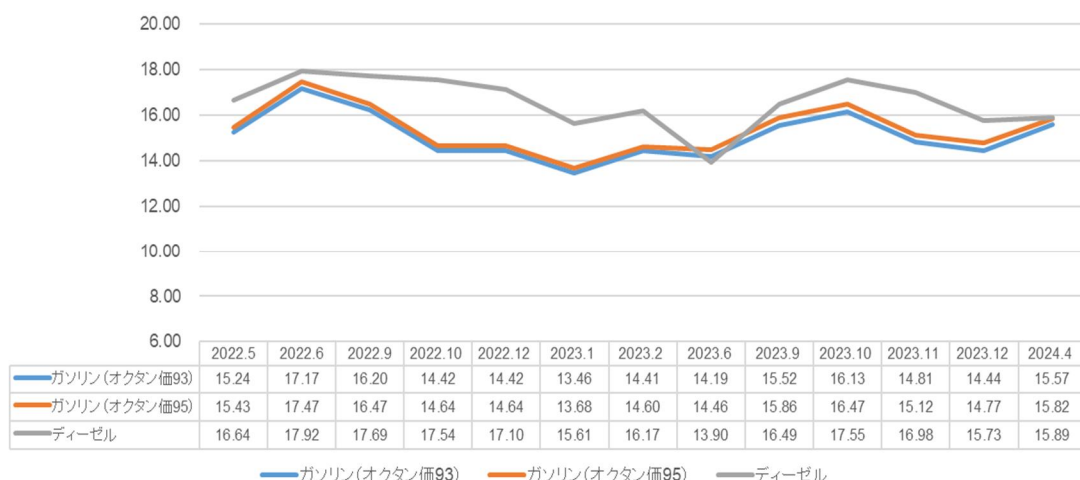
完成間近のボツワナ初の人工衛星BOTSAT-1は、米国の大手航空宇宙企業スペースX社によって打ち上げが行われる。総事業費400億プラ、打ち上げは2025年1月から2月の見込み。人工衛星の主な用途は、農業(穀物生産、収穫予測)、環境(洪水予測、防災)、都市計画等を見込んでいる。

○ 燃料価格改定-値上改定-

18日、ボツワナ・エネルギー規制庁は、地政学的要因による石油国際価格の高騰など踏まえ、燃料小売価格を以下のとおり値上げ改定した。改定後の価格は翌日より適用。

品目	改定後の店頭小売価格(一部地域を除く)
ガソリン(オクタン価93)	15.57 プラ/リットル(プラス 1.13 プラ)
ガソリン(オクタン価95)	15.82 プラ/リットル(プラス 1.05 プラ)
ディーゼル	15.89 プラ/リットル(プラス 0.16 プラ)

(図: 最近の燃料小売価格の推移)



○ デビアス社、オークション本部をシンガポールからボツワナへ移転

25日、デビアスグループは、デビアスグループ・オークション事業本部をシンガポールからボツワナに移転することを発表した。同グループのサイトホルダー部門は、2013年に英国からボツワナに移転し、現在ではハボローネで10年以上にわたって順調に事業を展開している。ペロエテツェ大統領付次官は、デビアス社のオークション事業のボツワナへの移転は、ダイヤモンド産業の世界的拠点としてのボツワナの役割を強化するものである、と述べた。

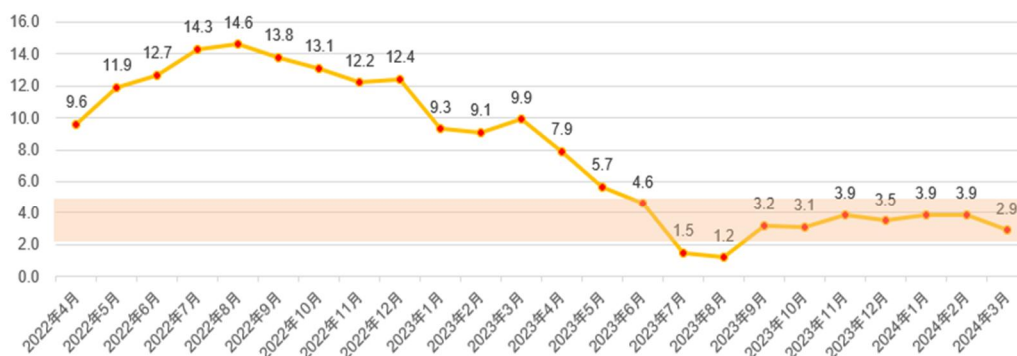
○ 2024年第2回金融政策会合-政策金利は2.4%で据置き-

26日、ボツワナ中銀の金融政策委員会(MPC)は、金融政策金利(MoPR)を2.4%に維持した。同銀は、前回(月報2月版参照)に引き続き、国内経済は短期的には過熱しておらず、需要主導型のインフレ圧力は発生しないとし、中期的にもインフレ率も同銀の目標範囲内(3%から6%)に留まり、2024年には平均3.2%(前回予想:4%)、2025年には平均5%(前回予想:同)になるとしている。

○ 3月インフレ率は2.9%-前月から1%下落-

3月の年間インフレ率(前年同月比)は2.9%となり、前月のインフレ率(同)の3.9%から1%下落した。分野別寄与度は、上位から雑貨・サービス(0.8%)、食品・非アルコール飲料(0.7%)、運輸、アルコール・タバコ、衣類等(以上、0.2%)であった。

(図: 近年のインフレ率の推移)

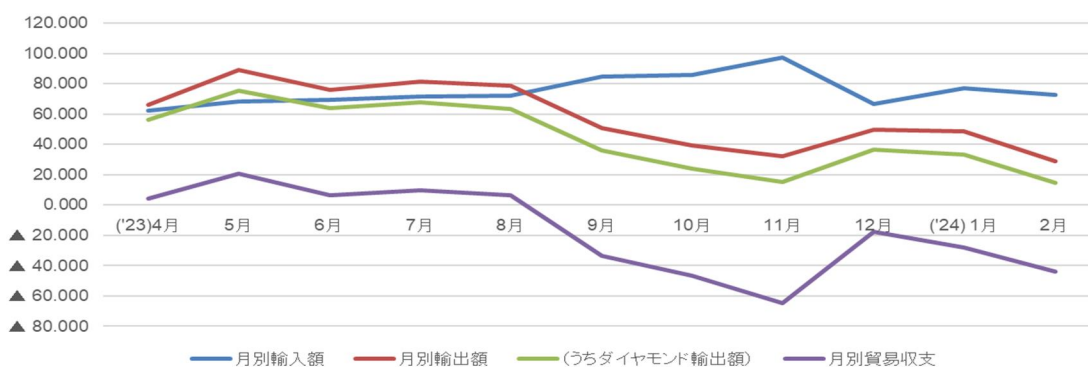


注: ボツワナ銀行中長期インフレ目標 (3%から6%)

○ 2月の国際商品貿易統計-5か月連続の貿易赤字-

2月の輸入総額は72.602億プラとなり、前月の77.003億プラ(改定値)から5.7%減少、輸出総額は28.873億プラとなり、前月の49.137億プラ(改定値)から41.2%減少した。その結果、貿易収支は、前月の27.866億プラ(改定値)の赤字から43.729億プラの赤字へと大幅に悪化した。昨年9月以降、ボツワナの貿易収支は、ダイヤモンド輸出(額)の低迷の影響により、6か月連続の赤字となった(図)。

(図: 月別貿易収支の推移: 2023年4月から2024年2月)



	('23)4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	('24)1月	2月
月別輸入額	62.158	68.410	69.472	71.726	71.988	84.706	85.721	97.366	66.838	77.003	72.602
月別輸出額	66.336	89.212	75.928	81.597	78.491	50.937	39.124	32.364	49.408	48.499	28.873
(うちダイヤモンド輸出額)	56.203	75.312	63.680	67.674	63.615	35.999	23.870	15.282	36.332	33.484	14.734
月別貿易収支	4.180	20.803	6.462	9.872	6.503	▲33.768	▲46.596	▲64.984	▲17.391	▲27.866	▲43.729

注)2024年2月は速報値

(参考)分野別内訳:上位5分野(%)

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	燃料 22.3	機械・電機 16.0	食料品等 15.2	化学・皮革 11.8	ダイヤモンド 10.4
輸出	ダイヤモンド 51.0	銅 22.7	機械・電機 10.0	肉・肉製品 3.9	塩・ソーダ灰 3.0

(参考)国別内訳:上位5か国(%)

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	南ア 69.9	カナダ 4.1	中国 3.9	ナミビア 3.6	米国 2.1
輸出	UAE 28.3	UAE 25.2	豪州 11.6	中国 10.0	ベルギー 6.8

(出典:ボツワナ統計局2月期貿易統計)

○ 2023年第4四半期の交通統計-日本メーカーが圧倒的存在感-

2023年第4四半期の車両登録数11,540台のうち、中古車が9,066台を占めた。中古車のうち、同期間中に日本から輸入され登録された中古車は7,690台となり中古車の約85%を占めた。全登録数11,540台中、トヨタが2,715台、マツダが2,031台、ホンダが1,840台と日本メーカーが上位3社を占めた。

【当館関連イベント】

○ 日本理解促進のための図書寄贈式典

5日、日本財団が助成する図書寄贈事業「READ JAPAN PROJECT」により、ボツワナ・オープン大学へ日本関連図書107冊が寄贈され、ハボローネ市内の同大学本部で行われた寄贈式に、大森大使、同大学副学長代理、大学関係者が出席した。寄贈された書籍は、日本関連の経済、ビジネス、政治、国際関係、文化、芸術、歴史など様々な分野に渡る。当地では本事業を通じ、これまで7つの大学・研究機関が図書の寄贈を受けている。

○ 中学校特別支援学級棟の引渡し

18日、ハボローネ市にて、大森大使出席の下、令和4年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力(マルラマンティ・コミュニティ中学校特別支援学級棟建設計画)の引渡式が行われた。本事業は特別支援学級棟(教室1室、障害者用トイレ、職員室2室、保健室1室)の建設をとおり、特別な支援を必要とする生徒に対して補習授業を行う場を提供し、インクルーシブ教育の質の向上に寄与するもの。

○ ボツワナ空手協会空手道場の引渡し

24日、ハボローネ市にて、大森大使出席の下、平成29年度対ボツワナ草の根文化無

償資金協力(ボツワナ空手協会空手道場拡張計画)の引渡式が行われた。本事業は空手の練習及び試合を行うための稽古場、機材等を保管するための倉庫、トイレ付男女更衣室の建設を支援するもので、平成20年度に実施済みの同事業の拡張計画として建設が支援されたもの。式典最後には、空手道場内にて、子どもたちによる空手の型が披露された。

○ 令和5年度補正予算UNDPプロジェクトの開始式

30日、ボツワナ北部のシャカウエにて、令和5年度補正予算案件「ボツワナ北部地域(ンガミランド)における干ばつの影響を受けている世帯・小規模農家に対する食料安全保障改善のためのレジリエンス強化」のプロジェクト開始式が行われ、大森大使、ホバスUNDPボツワナ常駐代表、住民を含む関係者が出席した。本事業は日本政府がUNDPに対し408,352米ドルの拠出を行い、UNDPボツワナ事務所が当地政府関係省庁と連携して事業を実施するもの。干ばつの影響を大きく受けたボツワナ北部地域の2千世帯に対して、緊急食料支援として食料パッケージが配布されるとともに、今後は同地域の女性や若者を含む小規模農家に対して、気候変動に対応するためのスマート農業構築支援や灌漑復旧事業、水資源管理技術支援等が行われる予定。

(了)